

# の 広報 のぼりペツ

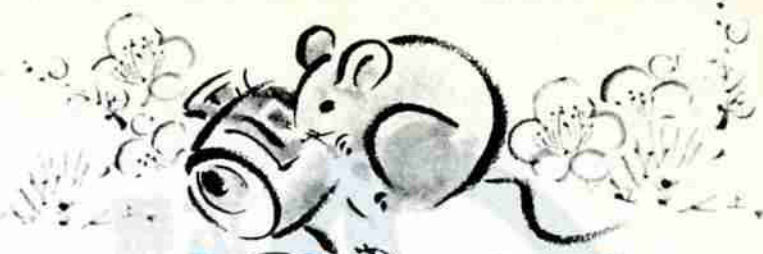


## 特集

- ◆市長・市議会議長による  
年頭のあいさつ
- ◆新春企画  
登別の1995年を  
振り返って
- ◆さらり  
アマチュアビデオ作品  
全道コンクール  
「第3回STVビデオ大賞」  
大賞受賞  
菅原光子さん

1/15  
1996  
No.543  
合併号

# あけまして おめでとうございます



輝かしい新年を  
迎えるにあたって



市長  
上野 晃

市民の皆様には、輝かしい希望に満ちた平成8年の新春をお迎える事とお慶び申し上げます。

昨年は、長期化する不況を起因とした、金融機関の倒産、神戸市を中心が発生した未曾有の大地震や、一連のオウム事件など忌まわしい、暗い出来事が多い1年でありました。

被災地の皆さんや、事件に偶然巻き込まれた方々が1日も早くもとの生活に戻る日が来るよう願っております。

市内に目を向けますと、清涼飲料メーカー、建設機械リース企業等の誘致が図られましたが、一方基幹産業の観光入り込みが減少す

る中で、3月に行われた日布文化交流イベントに300名余りの市民が参加し、観光地登別をPRし帰国後、観光事業者側が温泉の市民還元に取り組んだことも大きな収穫でありました。

また、住民基本台帳オンラインシステム、新総務計画の策定、地震・津波を想定した総合防災訓練の実施や研修会の開催、さらには、環境問題が重視される中、新最終処分場・中間処理施設・リサイクルセンターの施設整備計画の策定など、将来にわたる重要課題への基礎づくりを図ってまいりまして、新たな年、平成8年は登

別市第4次総合計画のスタートの年であり、来るべき21世紀にむけてまちづくりを推進するうえできわめて重要な課題を担う年でもあります。

この計画を基礎に今後、市民生活すべてにわたっているいろいろな施策が展開されることとなります。

国際化や高度情報化・高齢化社会・企業誘致・行政改革など行政課題は山積みしておりますが、市民の皆様のご協力をいただきながら、積極的に取り組んでまいります。

最後になりましたが、新しい年を迎え市民の皆様のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げ新年のごあいさつといたします。

年頭のあいさつ



市議会議長

小坂 義昭

新年あけましておめでとうございます。

輝かしい新春を迎えるにあたり、市議会を代表して市民の皆様にごあいさつを申し上げます。

今日の日本経済を見ますと、長期化する景気低迷の中にあつて、円高是正や株式市場に幾分明るさが見られるものの、依然として厳しい状況にあります。

登別市の行財政運営も、その影響を受け厳しい状況にあります。

しかし、この様な中にあつて、昨年は、建設機械リース会社等3社の企業誘致が図られ、地域活性

化の推進に大きな弾みとなりました。

また、基幹産業である観光は、円高等の影響で観光客の入り込みは依然として厳しいものがある中で、3月にはハワイ・ホノルル市で開かれた日布文化交流神興祭りに多くの市民とともに参加をし、「観光登別」を海外にアピールしてまいりました。

さらに、幌別地区にショッピングセンター「アーニス」が一昨年12月オープンし市内の購買力流出に大きな歯止めになるなど明るい話題も多い年でありました。

今後、来るべき21世紀に向け、急速に進むであろう高齢化、国際化など、当面する課題も山積しておりますが、夢と希望のもてる郷土「登別」を建設するため議会としても議員28名が一丸となって市民生活の安定、福祉の向上を図るため、議決機関としての機能を十分発揮し、市民の皆様のご負託にこたえてまいりたいと存じます。

最後に、この1年が市民の皆様にとってご健勝とご繁栄の年でありますことを心から祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。



# 登別の1995年を振り返って

平成8年を迎え、みなさんも今年1年の抱負、希望や夢を持ってお過ごしのことでしょう。振り返ってみると平成7年はまさに激動の1年という呼び方が当てはまる年だったと言えるのではないのでしょうか。

登別市でもいろいろな出来事がありました。

それらを広報のほりべつや新聞から拾い読みしてまとめてみました。

## 1月

広報のほりべつ1月号が発行されてから2週間ほど経った1月17日に阪神・淡路大震災が発生しました。この大震災は典型的な都市直下型地震で家屋の全半壊19万余棟、死者5千500人、死傷者も含めると4万数千人に達する大被害をもたらし、地震の恐ろしさを私たちの脳裏に強烈に焼き付けました。平成7年はこの大きな災害で幕をあげました。



▲商店や住宅の立ち並んでいた町がたちまち廃きよに

1/6・市役所本庁と各支所がオンライン化。住民基本台帳のコンピュータシステム化によってこの日から住民登録、印鑑登録、戸籍関係の登録申請や証明書の発行などが本庁窓口のほか、

各支所でもできるようになりました。



▲住民記録システム稼働式

## 2月

好評！のほりべつリサイクルハウス。広報のほりべつで、平成



6年12月25日の第1回の公開の様子を取り上げました。

当日、市民のみなさんに持ち込みしていただいたものも含めると、約150点ものリサイクル品が新しい持ち主の手にわたりました。(平成7年の結果では10月15日の公開でリサイクル品150点・来場者150人、12月10日の公開では159点・250人と、品数も来場者数も増えており、今後も登別市のリサイクル活動拠点としてその成果が期待されます)

2/1・第38回水族館技術者研究会が同協会総裁の秋篠宮殿下ご臨席の下、登別で開かれました。



会出場を決めました。

2/12・第6回全道5人制(室内)サッカー少年団大会で初出場の登別・富岸ジュニアキッカーズが優勝しました。

## 3月

日本とハワイの文化交流を目的に3月24日から3日間の日程でハワイ州ホノルル市内を会場に第1回ホノルルフェスティバルが開かれ、メーンを飾る「みこし渡御」の先頭で一際注目されていたのは「のほりべつ地獄まつり」でおなじみの鬼みこしでした。お宮型の他の神輿と比べ、具象



▲ハワイ州ホノルル市内を練り歩く鬼みこし。一際脚光を浴びていた。

2/11・全国書初大会で最高賞を梶別西小学校6年生の伊藤利恵さんが受賞しました。登別大谷高校女子バレー部が第26回全国高校バレーボール優勝大会で3年連続7度目の全国大

化された鬼みこしは強烈な印象を与え、登別から参加した30名の市民にも質問や記念撮影の申し込みが殺到しました。



また、デモンストレーションとしてアラモアナショッピングセンターで行われた「フェスティバルフロム登別」は鬼みこしを除く地獄まつりの集大成で、「熊舞」、「北海道太鼓」などの郷土芸能には一際大きな拍手が送られていました。

3/14・姉妹都市である宮城県白石市と道内自治体初の「災害時の相互援助協定」を結びました。

3月から4月にかけては、新聞やテレビが「オウム事件」一色でした。3月20日に起こった地下鉄サリン事件に端を発して次々と出てくる凶悪事件への教団関与など、ショッキングな報道が続きました。小説やSFの世界の話のような事件が「平和な日本」、「世界一とも言われる治安」に慣れていた私たちの目や耳に飛び込んで来ました。

## 4月

市政執行方針「当面する5つの課題として「不況対策」、「財政運営」、「行政改革」、「新総合計画の策定」、「災害に強いまちづくり」への取り組みを今年度の市政執行方針として平成7年度はスタートしました。

4/2・登別出身の合田彩さんが文芸春秋社から「逃(TAO)」異端の画家、曹勇の中国大脱出

を出版、作家デビューを飾った事が新聞などで紹介されました。合田さんは処女作であるこの作品で9月12日に第17回講談社ノンフィクション賞を受賞されました。



この話は出版された。合田さんは、この作品の題名「逃」を英語で「TAO」として、その意味は「逃げる」ということだ。



4/13・地震観測点が鉾山町に設置されました。

4/16・統一地方選挙が行われ、市議会議員28名が決定しました。今回の選挙では候補者数が定員である28名であったため、市始まって以来の無投票選挙となりました。

4/19・しんた21トレーニングルームの年間利用者は5万人を超え、市民に好評だと新聞で報じられました。平成7年度のデータによると、トレーニング

ルームを利用しているのは男女とも6時から7時までの時間帯が一番多く、曜日別では女性は火曜日が一番多く、男性は金曜日となっています。年代別では女性は20代、男性は30代が多く



男性の方が長続きしない傾向にあるそうです。仕事などで時間が取れないという理由が多いようですが、休日に夫婦そろって健康づくりというのも素敵な休日の過ごし方ですね。

## 5月

登別方式資源リサイクルの平成6年度第2種(金属類、空き缶、雑ビン)資源回収実績が総量約234トンで前年度に比べ4割増と好結果になりました。



アーニスが全国市街地再開発協会の平成7年度市街地再開発功労表彰の事業成功例に選ばれ、全国表彰を受けました。



5/3・津軽三味線のプロ演奏家を目指す富岸町在住の吉田良一郎さん、健一さん兄弟が、95津軽三味線全国大会で最高クラスのア級に初挑戦し、兄が入賞、弟が特別賞に輝き、兄弟そろってプロへの道に大きな一歩を踏み出しました。



▲「吉田兄弟」と呼ばれ、市内のイベントなどでは、大人気の2人。

## 6月

5/25・若草第2配水池完成。

6月は環境月間「ゴミの不法投棄は平成6年1年間で28件だったのに対して、平成7年では11月末現在で35件と、すでに前年



を上回る数字になっています。春に雪が解けた時、ゴミが無  
い美しい緑が顔を見せてくれるように、市民一九となって不法  
投棄を追放しましょう。

6/14・全道高校体育大会の体  
操競技で登別大谷高校体操部男  
子が2年連続団体優勝、個人総  
合1位には同校小林幸博選手が  
入賞しました。

6/22・ア・ニス2度目の全国  
表彰―5月の全国表彰に続き、  
第13回まちづくり月間建設大臣  
表彰を受賞しました。



ただ、幅広い意見や提言をい  
ただいてきました。それらを反  
映するため進めていた策定作業  
がほぼまとまり、広報のほりべ  
つ7月号で6ページにわたって  
計画素案の概要をお知らせし、  
再度みなさんからのご意見やご  
感想を求めました。



7年の市政総合計  
画「新テーマ」を  
市民の意見をも  
とに作成しました。  
市民の意見をも  
とに作成しました。

7月

第4次総合計画基本構想(素案)  
―新しい総合計画づくりにあたり、市では、「市民のみなさんとともにつくりあげること」を基本にして計画段階から市民のみなさんに積極的に参加してい



市内鷺別地区の8町内会約2千  
世帯でつくる鷺別連合町内会が、  
町内を流れる鷺別川の清掃を18  
年前から地道に続けてきた活動  
を評価され、日本河川協会の平  
成7年度河川功労者として道内  
から一団体表彰を受けました。

7/23・マリンパークが平成7  
年7月でオープン5周年を迎え、  
入館者300万人を達成しました。



7/27・登別市防災総合・水防  
訓練が、千歳町で19の協力機関  
約40人の参加で行われました。  
今回の訓練ではこれまでの大  
雨による災害を想定した訓練に  
加え、地震と津波を想定した訓  
練も初めて行われました。



▲多くの市民が参加して行われた訓練はこれまで無いほどの大規模なものでした。

## 8月

市民意識調査結果報告―市が、  
平成4年に実施した第1回目の  
調査に続き、第2回目として平  
成6年12月に行った調査の結果  
をまとめ、広報のほりべつで  
お知らせしました。主な質問と結  
果内容は以下の通りです。「登  
別に一生住みたいと思いますか  
」思う61.5%、思わない14%  
、「これからのまちづくりでは、  
何に力を入れたら良いと思いま  
すか」1位道路舗装や排水施設  
の整備、2位下水道の整備、3  
位老人福祉の推進」

8/1・全道中体連サッカー競  
技大会で鷺別中学校サッカー部  
が準優勝。2年連続全国へ駒を  
進めました。

8/15・登別市民宿泊割引カー  
ド「らぶ湯カード」が全世界に  
配られました。

8/18・中学生海外派遣団の一

行が10日間の日程でデンマーク  
に出発しました。

8/25・登別の夏のフィナーレ  
を飾る第32回登別地獄まつりが  
登別温泉街を会場ににぎやかに  
開催され、勇壮、華麗な「閻魔  
(えんま) 伝説」に観光客や多



くの市民が酔いしれました。  
〈第32回の地獄まつりは、観光  
冷え込みもなんのその、3日間  
の開催期間中の人出は目標の5  
万人を上回る5万3千人とな  
りました。〉

9月

市推奨半透明ごみ袋、全市的展  
開へ―モデル地区での良好な結  
果を踏まえ、「登別市推奨ごみ  
袋」の全市的展開をにらんだ市  
内大規模小売店での販売体制づ







# きらり

アマチュアビデオ作品全道コンクール  
「第3回STVビデオ大賞」大賞受賞

菅原光子さん  
(若草町)

テレビ局が主催する全道ビデオコンクールの大賞に、若草町の菅原さんの作品「スズメのお宿は郵便ポスト」が選ばれました。この作品は、郷土資料館にある古い郵便ポストに巣づくりをしたスズメの子育ての様子を40日間にわたり追いつづけたものです。全道からの応募作品608本のトップに輝いた菅原さんにお話しを聞きました。

「今回の作品を撮ったきっかけは、郷土資料館の館長さんから「スズメがもしもい所に巣作りを始めたよ」と、電話をいただいて見に行くと、スズメが郵便ポストに一生存けんめいワラを運んでいたの、これは」と思い、撮り始めました。

「大賞を受賞した感想は、大賞にはスケールの大きな作品が選ばれると思っていましたので、名前が呼ばれたときは、驚きで地に足がつかないような感じでした。

「ビデオの魅力は、ビデオを写すことよりも、編集して、音楽やナレーションを入れて、1本の作品に仕上げるほうがおもしろいですね。すべて自分で考えて作るのですが、とても楽し

いです。

「新年の抱負を教えてください」

「昨年、たくさん撮ることに重点を置いていたのですが、今年は撮るものを選んで、もっとじっくりと作品を作り上げたいですね。そしていつか、世界各地から応募のある、東京のビデオコンクールで、入賞したいなと思っています。」

菅原さんは今、鉾山町を題材とした作品に取り組んでいるそうです。また、普段目の届かないような小さな小さなことでも題材になるので、どんどん提供してほしい、とやさしい笑顔で話してくれました。

東京のビデオコンクールでの入賞を目指して、いい作品を作り続けてください。



▲小さな出来事も菅原さんの手にかかるとすてきな作品に仕上がる。

## フレッシュな伊藤



伊藤英美里さん

新生町・21歳 陸上自衛隊幌別駐屯地広報班勤務

「趣味は何ですか」

スキーとかドライブが好きですね。休みの日は洞爺湖へドライブをしたり、買い物に出掛けたりしています。

「料理も好きなので、母にもっと教えてもらって上手になりたいと思っています。」

「登別市についてどう思いますか」

育った街ですので、緑がいっぱいあっていい街だと思います。遊園地のような遊ぶところは、札幌などにありますので、登別は自然を残して、このままであってほしいです。

「市民のみなさんに一言」

自衛隊というと堅いイメージがあると思うのですが、創立記念の一般開放などがありますので、もっと気軽に遊びに来てほしいと思います。





# 手足も使って しめなわづくり

毎月多彩な催し物で、広報でもすっかりおなじみになった郷土資料館の体験学習会。毎月第2土曜日を楽しくしている常連さんもいるそうです。平成7年の締めくくりとして行われたのは「体験学習・しめなわ作り」でした。参加した親子ら40人が同館ボランティアアメンパーのみなさんの指導を受けながらミニしめなわ作り挑戦。手足を上手に使って作ったしめなわを手に「自分の部屋に飾るんだ」と満足そうでした。最後に「無事に年を越して、来年また元気に会えるように」と職員手作りの年越しそばが振る舞われ、ひと足早い正月気分を味わっていました。



▲出来上がったしめなわを手に「ハイ、ポーズ」

## 地元で愛されて1周年 アーニス満1歳



中央地区の中心商店街の顔、商店街近代化推進事業の核店舗として協同組合登別中央ショッピングセンターが国の市街地再開発事業などに併せて建設、運営してきた登別中央ショッピングセンター・アーニスが12月9日に開店1周年を迎えました。それに合わせて「開店1周年祭」が1日から始まり、多彩な記念イベントで市民とともに満1歳を祝いました。

## 私が見た登別

アットホームな町ですね



よしなか あつし さん  
（登別東町）



「いつ登別に来ましたか？」  
就職のために、平成7年6月に東京都羽村市から来たばかりです。  
「羽村市はどんな街ですか？」  
23区よりも郊外で山も川もありません。東京とは言いながらもかなり自然が残っている所です。  
「登別を知っていましたか？」  
入浴剤の商品名などで知っていました。そのイメージがかなり強かったですね。湯気がモン

モンとたっているような所を想像していました。  
「登別に住んでみての感想は？」  
第一印象は山に囲まれていて緑がきれいだなと思いました。  
食べ物魚介類がおいしくて近所のお寿司屋さんには随分通いました（笑）。そして、そういう所で出会う人がみなさん温かく迎えてくれてアットホームな感じがしますね。  
初めての冬を迎えるんですけどやはり寒いですね。冬道も初めてなのであまり外に出ないようになっています。（笑）  
「登別に望むことは？」  
登別駅前が寂しいですね。観光客が駅に降り立った時に「温泉はどこだ？」と感じると思います。駅前から観光客を迎える華やかさが欲しいですね。湯気がモンモンと立っているとか（笑）



# 東 奔



# ドン

おなかに響く迫力にびびる!!



「市内のイベントなどでも、その華麗で勇壮な姿が大人気の和太鼓を間近で見られる」そんな素敵なプレゼントが富士幼稚園のちびっ子らに届きました。12月14日に行われた「お楽しみ会」は年に1回園児たちも楽しみにしている行事で、今回は登別市太鼓同好会にも加盟している北海自衛太鼓部の皆さんが初の試みとして慰問。迫力の生演奏を披露しました。ちびっ子たちも「おなかに響いたよ」「太鼓を見た元気になる」と大喜びで、太鼓を使ったクイズなども行われ、110名の園児たちは大喜びでした。

## 市民演芸大会 隠し芸で 社会福祉活動を支援

12月1日に市民会館で開かれた第27回観別地区チャリティー市民演芸大会は、出演者も観客も500円の入場券を購入し、一体となって社会福祉活動を支援する恒例行事です。三部構成で行われたステージには歌や踊り、大正琴など30にも及ぶ出し物が次々と登場。日ごろの練習の成果を一目見ようと多くの市民が訪れ、会場となった大ホールは、96席ある椅子に座り切れず、立ち見をしている人も見られるほどでした。



## 仲間たち



ボランティアは豊かな学びの世界

中・高生ボランティアサークル「茶ばしり」

代表 堀切 夢香さん  
社会福祉協議会ボランティアセンター ☎0800000000



▲すずかけ作業所のみなさんとの交流の様子。

「茶ばしり」は、平成7年1月に社会福祉協議会ボランティアセンターの主催で行われたボランティア体験学習「ワークキャンプ研修会」に参加した中・高生のみなさんが、研修で学んだ事を生かしながら、自分たちのボランティア活動を実践していこうと設立しました。

現在、会員は男女20名で、しんた21を活動拠点に、学校の休みに合わせて開かれる例会で「何をするか」という所から自分たちで考え、これまでに障害者の方との交流や施設でのボランティア体験などを長期的休みに集中的に実践しています。

茶ばしりの活動をサポートしている社会福祉協議会ボランティアコアコーディネーターの藤江さんは「ボランティア活動自体が豊かな学びの世界ですから、もっと豊かに生きたいという人たちが集まって来るといいですね。」ボランティアという言葉はかなり浸透していますが、実際にボランティアとは何かという話になるとまだまだ学校や家では知る機会が少ないんです。興味を持ったらずボランティアセンターに連絡していただければ、「茶ばしり」などのサークル活動や、いろいろな体験活動などを随時紹介しています」と話してくれました。



# わたしの趣味

## 切り絵



いちむら 市田 稔さん  
(美園町)

市田さんの趣味は切り絵です。色画用紙やラシャ紙にデッサンした絵をカッターで切り抜いて作品を作ります。

題材は風景や童話の一場面など様々で、簡単な物なら1時間程度、細かい物であれば5、6時間かかる場合もあるそうです。

市田さんと切り絵との出会いは10年前教師をしていたころ、切り絵クラブの顧問を頼まれ、それを引き受けたのがきっかけで、それまで切り絵は全く経験が無く、本などを参考に独学で始めました。クラブの生徒に教えるのではなく、一緒に勉強していこうという気持ちで取り組んだそうです。

「最近はあまり作っていないんですよ。出来上がった作品も自分で楽しんでだけで、人に見せたりすることもあまりないんです」と照れながら見せてくれた作品は、どれもが丁寧に細かい部分まで細工が行き届いた



▲鷺別町クジラ岬を題材にした作品。

見事な作品ばかりでした。「作品を切り絵として作ったときに、絵とはまた違った喜びと感動があるんですよ」切り絵をやりだしてから物を見る目が「あつ、これは切り絵になるな」とか、そういう見方をするようになってきました。たとえば、一つの風景ならそれを見たときに切り絵にしたならここは白くなってここは黒くなってなど頭と中でいろいろ描きながらイメージを膨らませていくといった具合にね。そうした作業に入ると何ともかも忘れて没頭できるから面白いですよ。

これからは登別の特徴ある風景や、歴史的なものを題材にした切り絵を作って残しておきたいですね」とにこやかに話してくれました。

## ゆけむりネットワーク 登別応援団

### 私は登別の敵である



にしざか 西坂和幸さん

(東京都江東区在住)  
昭和42年観別中学校卒業。  
書籍や雑誌の編集工房「NKプランニング」代表。  
東京登別げんきかい幹事。

登別の発展を快く思っていない奴がいるのをご存じか。私はいま、本を作る仕事をしている。新しく作りたいものがあつたら、スポンサーや出版社といったお金を借ってくる所に頼んで、「ゼツタイ面白いんだから、ホント」と説得する。たまに認められることもあるので、こうして食べていられる。つまり、私の仕事は人を説得することでもある。

しかし、絶対に説得できない敵がいる。親・兄弟であり、古くからの友人、知人である。この人たちは絶望的なほど、新しい私を理解しない。どんなに昔のイメージを消そうとやっきになっても、「お前は、相変わらずだな」の一言で葬られてしまう。彼らの偏見(と私が勝手に思っている)は、絶望的なくらい強いのだ。

一方、私が故郷に抱くイメージも強固である。例えば、壊れた橋での危険な遊び、都会のマネして揚げたアドバルーンのような姿。どんなに立派な町になっ

ても、私の思い出の風景は頑固に変わらない。誠に困ったものだ。

お互いに「俺は変わった。だがお前は変わるな」と言い合っているのかもしれない。身勝手だと思われるかもしれないが、これだけは言えそう。登別に対して最も強い偏見を持っているのは、登別を愛する登別出身者たちだと。自分を愛する者ほど手こわいのだ。



▲昨年の11月19日に東京で行われた「東京・登別げんきかい」総会のようす。



登別郷土文化研究会 宮武 紳一

## 「札幌本道」登別を通る(1)

### 我国最初の砂利敷き道路

登別市役所前・陸上自衛隊幌別駐屯地前の中央通りを、若山町1丁目の方向に進むとJRの踏切があり、掲示板に「札幌道路踏切」と書いてある。

普段、気にならぬ踏切だが「札幌道路」とは、今から123年前、函館と札幌を結ぶ北海道開拓の大事業として築造工事がなされたもので、特に室蘭と札幌を結ぶ道路は、

道と改め、胆振・日高・石狩・千島国などの11国、幌別・有珠・白老・室蘭郡などのように86郡に分け、広い北海道を統轄するために札幌を本府とし開拓使を設置した。

ところが、当時の日本の北方情勢は、江戸時代中期以降からロシアの進出が急で、日本人の抑留や殺傷事件などの紛争が千島・樺太でおこり、明治維新後も世界の大国ロシアの脅威に恐れていた。

早く北海道を開拓し、北門の鎖やく(とりで)として防備をしなければならぬ、と政府は焦った。それにしても、北海道と改称した

明治2年の道内人口は約5万8千人。登別市の11月末人口は5万7千499人。九州と四国を合わせた以上にまだまだ広い北海道に登別市ほどの人口では人が何処に住んでいるのかわからない。

北海道の首都となった札幌の常住人口も、明治3年はたったの9戸13人。因みに幌別郡は113戸47人である。

開拓と言ってもこれでは仕様がなないので、政府は、24の旧大名や新政府に反抗した土族らに分領支配という名目で38領地に分割し移住開拓を勧めたが、政府の中心的存在の鹿児島・名古屋・熊本・金沢らの旧大藩は「遠隔で寒冷の地ゆえ、分領支配を返上します」と

続々申し出る始末。結局、明治4

年の分領廃止まで開拓を継続したのは、仙台・秋田・米沢ら10の藩や、登別の片倉・有珠の伊達・静内の稲田ら6士族。いずれも新政府に反抗し減封や領地没収を受け政府に忠誠を誓わねばならぬ立場のものが多く。

次に、当時渡道するにしても交通の問題がある。

片倉家が幌別郡の分領支配を命じられたので、首席家老の本澤直養ら9名が受領のため、白石を出発して45日という長い日数をかけて幌別に到着している。

陸路は歩き、海上は一本柱の帆船。特に太平洋岸は潮流も不安定で危険、冬の北海道行き海上航路は中断されてしまう。

問題は多かったが、大國ロシアの脅威は、早急な北方の首都札幌の建設を強力に進めることになる。

北海道への道は、東京品川港から大型蒸気船を運航させ、港は函館・小樽・室蘭を考えたが、日本海側の小樽港はロシア問題で無理、新室蘭港を開き、東京と室蘭間を3日、室蘭と札幌間を2日と計算し、東京と札幌は5日間と結ばれるという構想が高まった。

ホシケサンベ(沖漁の目印)の山・測量山)を基点に、新室蘭港に一番杭が登別に御番の杭が打ち込まれ、登別地方にも愈々札幌本道の開設が始められた。



▲現在の札幌道路踏切。中央通りと国道36号線を結ぶ。

◀掲示板には「札幌道路踏切」と書かれている

日本で最初に造成された長距離車馬道のアクアダム式舗装(砂利敷)道路。勿論、ワーフィールド、アンチセルら外国人技術者の指導であるが、日本の交通史上からみて画期的なもの、北海道開拓の主要幹線道路であった。

「札幌道路の踏切」は、今から103年前、北海道炭鉱鉄道(室蘭線の前身)が開設した時に設置したもので、札幌道路とか、札幌道路踏切などの古い時代の名称が現在も残って掲示されているのも道内で珍しく、恐らくここだけのものと思われれます。ただ以前は「札幌本道踏切」になっていました。

さて、歴史は潮りませんが、明治2年(1869年)蝦夷地を北海





3か月〜4か月児  
健康診査

- ▽月日 2月22日(木)
- ▽受付時間 12時15分〜12時30分
- ▽場所 しんた21(総合福祉センター)
- ▽対象 平成7年11月出生児
- ▽内容 医師による診察、身体計測、育児相談、栄養相談
- ▽持参するもの 母子健康手帳、バスタオル、替えオムツ
- ▽問い合わせ 保健福祉課(しんた21内 ☎0100)

乳幼児健康相談

- ▽月日 2月13日(火)
- ▽受付時間・対象 10時〜10時30分・7か月児(平成7年6月出生児)
- 13時〜13時30分・相談を希望するお子さんのいる方
- ▽場所 しんた21(総合福祉センター)
- ▽相談内容 発育発達、離乳食、予防接種、しつけほか
- ▽問い合わせ 保健福祉課(しんた21内 ☎0100)

1歳6か月児  
健康診査

- ▽月日 2月8日(木)
- ▽受付時間 12時15分〜12時30分
- ▽場所 しんた21(総合福祉センター)
- ▽対象 平成6年7月出生児

- ▽内容 医師、歯科医師、歯科衛生士、保健婦、栄養士、心理師、定員による健康診査(身体計測、フッ素塗布の予約、発達相談ほか)
- ▽持参するもの 母子健康手帳、現在使用中の歯ブラシ
- ▽問い合わせ 保健福祉課(しんた21内 ☎0100)

毎月5日のつく日は  
しんた21の体力測定会

- しんた21の体力測定会は毎月5のつく日(5日、15日、25日)に行います。(5のつく日が休館日の場合、その翌日に実施)ご利用前に体力測定を受けるとより効果的な健康づくりができます。
- なお、測定時間中はトレーニングルームの一般利用はできません。
- ▽参加料 500円
- ▽定員 各日18名(申込順)
- ▽申し込み 1月18日(木)以降、保健福祉課(☎0100)

健康相談

- ▽対象 満40歳以上の方(現在通院中の方は除きます)
- ▽内容 血圧、糖尿病、高脂血症など保健婦と栄養士による相談
- ※事前申し込みが必要です。相談時間は申し込みの際にお知らせします。

- ます。
- ▽申し込み・問い合わせ 1月26日(金)までに保健福祉課(しんた21内 ☎0100)

月日	受付時間	場所
2月6日(火)		
2月13日(火)		しんた21
2月20日(火)	10時〜	(総合福祉センター)
2月27日(火)		
2月7日(水)	10時〜	鶯別公民館
2月5日(月)	10時〜	婦人センター

幌別川水鳥ウォッチング

- ▽日時 平成8年1月28日(日) 10時〜11時30分
- ▽集合場所 幌別川白鳥テラス
- ▽問い合わせ 自然愛好グループ ヨシキリの会・伴野さん(☎57515)

歩くスキー講習会

参加者募集

- 教育委員会は、歩くスキー講習会を開きます。多数ご参加くださる会を開きます。多数ご参加ください。
- ▽日時 2月25日(日) 10時〜
- ▽場所 カルルス・サンライバス キー場 歩くスキーコース
- ▽対象 市内に居住または通勤・通学する小学生以上の方
- ▽受講料 無料
- ▽申し込み・問い合わせ 2月18日(日)までに総合体育館(☎5552)
- ※用具は各自用意ください。当日は暖かい服装でご参加ください。

女性のための  
健康診査を行います

骨粗しょう症健診を  
受けてみませんか?

市は、日ごろ健康診査を受ける機会の少ない女性を対象に、骨粗しょう症と成人病予防のための健康診査を行います。  
この機会に受診し、健康づくりに役立てませんか。

健診場所・日時

- ◎市立室蘭総合病院(鶯別・若草・新生地区に居住の方)
  - 1月24日(水) 14時〜
  - 1月25日(木) 14時〜
  - 1月26日(金) 9時〜14時
- ◎登録厚生年金病院(中央・登別・温泉地区に居住の方)
  - 1月30日(火) 10時〜
  - 1月31日(水) 10時〜

- ▽対象 18歳から39歳までの女性
- ▽内容 骨粗しょう症検査、身体計測、血液検査(貧血・総コレステロール・HDLコレステロール・中性脂肪)・尿検査(蛋白・糖・潜血)など
- ▽料金 1千円
- ▽定員 各健診機関20名(定員を超えた場合は抽選)
- ▽申し込み 1月8日(月)9時から1月10日(水)15時まで
- ▽申し込み・問い合わせ 保健福祉課(しんた21内 ☎0100)



## おめでとう20歳

平成8年成人式のご案内



市は、平成8年に新成人として社会に巣立つ若者の将来を祝い、式典を行います。

今年も思い出に残る登別市らしい成人式にするため、テーマパークを会場としました。

ぜひ、出席ください。

▽日時 1月15日(月) 13時～

(受付12時)

▽会場 登別マリナーパークニクス

▽対象 登別市に住民登録をしていて、昭和50年4月2日から昭和51年4月1日までに生まれた方(他市町村に住民票を移している方でも連絡をいただければ出席できます)

▽問い合わせ 社会教育課

(☎1100)

※対象者には案内状を送付しますが、1月9日までに届かない場合はご連絡ください。

**20歳になったら国民年金!!  
あなたも手続きを忘れずに!!**

▽手続き・問い合わせ 保険年金課 (☎1771)

## 無料法律相談

交通事故、金銭貸借、損害賠償、離婚など法律問題でお困りの方はご相談ください。

札幌弁護士会室蘭支部の弁護士が相談をお受けします。

相談を希望する方は、事前に申し込みください。

▽相談日・担当弁護士

2月3日(土)・村上弘さん

2月17日(土)・芝垣美男さん

▽場所 鉄南ふれあいセンター

▽時間 9時30分～12時

▽定員 各日5名(申込順)

▽申し込み・問い合わせ 市民課 (☎1855)

※なお、裁判や調停中の問題は、相談をお受けできません

## 日本赤十字社

### 「一般家庭看護法」講習会を開きます

日本赤十字社登別市地区は、専門の講師を招いて「一般家庭看護法」講習会を開きます。

家族の健康を守るため、病気の知識や病人がた時の介護の方法などを、実習を通じ一人ひとりわかりやすく指導します。

1日だけの短期講習会となっておりますので気軽にご参加ください。

▽日時 2月20日(火)10時～15時

▽場所 しんた21(総合福祉センター) 2階多目的ホール

▽定員 30名程度

▽受講料 無料

▽申し込み・問い合わせ 2月9日(金)までに日赤登別市地区

事務局(社会福祉課内)☎1911

## 第19回つげものフェスティバル

を開きます

▽教育委員会・つげもの

フェスティバル実行委員会主催

▽日時 1月12日(金)11時～13時

▽場所 市民会館中ホール

▽内容 つげものコンクール、漬物試食、地場産品販売など

◎つげものコンクール出品募集

▽部門 ぬかづけ、かすづけ、かすみそづけ、魚づけ、アイデア

づけ

▽出品申し込み 1月10日(水)までに電話で申し込みください

▽出品受け付け コンクール当日(1月12日)の9時30分～10時

に汁がもれないように密封し、本人が直接会場へ持参してください。

▽申し込み・問い合わせ 社会教育課 (☎1100)

しんた21の点字図書室に点訳用パソコンが設置されました

しんた21(総合福祉センター)の点字図書室に、点訳用パソコン

6台、校正用のプリンター3台などが設置されました。

この点訳パソコンは、市が財団法人自治総合センターの宝くじ普及広報事業の助成を受けて設置したものです。

今後、講習会などを予定しています。詳しくはお問い合わせください。

▽問い合わせ 社会福祉課 (☎1911)

建設工事・物品などの指名願いを受け付けます

市は、平成8年度の建設工事、設計、測量、物品などに入札参加を希望する事業者の資格審査申請を受け付けます。

▽受付期間 2月1日(木)～2月20日(火)(土・日曜日及び祝祭日は除きます)

▽受付時間 9時30分～12時、13時～16時

▽受付場所

## 不用品ダイヤル市

☎ 85-2958

おわけします(売り)

電子ピアノ・自転車(大人用)・餅つき器・電気こたつ・スキー(165cm)・靴(23.5cm)・スタッドレスタイヤ(145-80R-10)・ステレオ・健康ぶらさがり機・夏タイヤ(145-65R-15)・おまる・ベビーベッド・カラオケ

ゆずってください(買い)

冷蔵庫・洗濯機・石油風呂釜・スピーカー・ポータブルミシン

○建設工事、設計、測量など

契約管財課契約係(市役所3階)

○物品

財政課用度経理係(市役所2階)

○提出書類

○建設工事、設計、測量など

(社)北海道土木協会発行の市町村統一様式を使用してください。

(登別建設協会)で取り扱っています)

○物品

財政課用度経理係に備え付けの指定様式を使用してください。

※既に平成8年度の資格を有している事業者は、平成8年1月以降に証明を受けた登別市税の納税証明書(納期到来分)を2月29日(木)までに提出してください。

(提出が遅れますと、資格を失いますのでご注意ください)

▽問い合わせ

○建設工事、設計、測量など

契約管財課(☎1184)

○物品 財政課(☎1331)



第25回

# 登別温泉 湯まつり

2月3日(土)・4日(日)

## 第25回登別温泉湯まつりプログラム

2月3日(土) 節分			
13:00 ~ 15:00	カルルス訪問	カルルス温泉	カルルス温泉の湯治客を訪問し、湯鬼神かぐらを披露します。
18:00 ~ 20:00	厄払い湯鬼神群舞 (旅館・商店訪問)	登別温泉街	大勢の鬼達が町にくり出し、観光客や市民のみなさんの今年1年の厄払いを行います。
20:00 ~ 20:40	郷土芸能湯鬼神かぐら 厄払い豆まき 郷土芸能子宝もちつき舞 湯の華もちサービス 甘酒・湯鬼酒サービス	まつり広場 (登別パラダイス)	湯まつりの主役・湯鬼神が踊り、年男が厄払いの豆まきを行います。登別温泉の名湯“子宝湯”にちなんだ郷土芸能。ついた餅はみんなにプレゼント。
2月4日(日) 立春			
12:00 ~ 15:00	温泉入浴ご招待	登別温泉旅館組合	登別温泉旅館組合による登別市在住の方1,000名様を温泉入浴にご招待。
18:00 ~ 20:00	厄払い湯鬼神群舞	旅館・ホテル	赤鬼・青鬼の湯鬼神が各旅館・ホテルを廻って厄払いを行います。
20:00 ~ 20:40	郷土芸能湯鬼神かぐら 厄払い豆まき 郷土芸能子宝もちつき舞 湯の華もちサービス 甘酒・湯鬼酒サービス	まつり広場 (登別パラダイス)	創作郷土芸能湯鬼神かぐらが披露され年男による豆まきが行われます。子宝もちつき舞でついた餅は集まったお客様にサービスされます。
20:40 ~ 21:00	源泉湯かけ合戦 道祖神裸ねりこみ	まつり広場 (登別パラダイス)	厳寒の夜、裸の若者によって勇壮な湯かけ合戦がくり広げられます。

第25回登別温泉 湯まつりが2月3日(土)・4日(日)に行われます。

この祭りは、11種類の温泉の豊富な湯がつきることのないように祈願するとともに、温泉の効能に感謝し、開運と無病息災を祈る祭りです。

年に一度の節分に合わせ、エンマ大王の使者である赤鬼・青鬼の「湯鬼神」が温泉街を回って厄払いを行い、みなさんや登別温泉の悪い厄を一身に集めます。

「湯鬼神」が来たら「福は内、福は内」と豆をまいて、厄払いをしましょう。

4日、20時40分からは、祭りの

フィナーレを飾る勇壮な「湯かけ合戦」が行われます。

◎登別温泉入浴ご招待のお知らせ

登別温泉旅館組合は、市民のみなさんを温泉入浴にご招待します。

▽日時 2月4日(日) 12時~15時

▽定員 1千名(市民の方に限り)

ます。応募多数の場合は抽選)

▽応募方法 往復はがきの往信の裏に代表者の住所、電話番号、

年齢、入浴を希望する全員の氏名(5名まで)を明記し、返信の表に応募者のあて名を記入し、

申し込みください。 登別温泉旅館組合(〒059-0055 登別温泉町60番地 ☎0133-3311)

## スポーツ指導者講習会

(テーピング講習会)を開きます

開きます

教育委員会は、スポーツ指導者

(テーピング)講習会を開きます。

▽日時 2月17日(土) 13時30分~16時30分

▽場所 総合体育館2階会議室

▽対象 市内スポーツ団体の指導者及び市内に居住または通勤する成人

▽定員 30名

▽申し込み・問い合わせ 2月12日(月)までに総合体育館(☎0555-552)

## 平成8年度

## 保育所児童募集



市は、平成8年度市立保育所の入所児童を募集します。

入所を希望する方は、児童家庭課または各支所に備え付けの申請書などに記入をして、申し込みください。

▽入所資格

◎富士・幌別東・栄町・鷺別保育所：生後6か月以上の児童

◎登別・登別温泉・富浦保育所：満3歳以上の児童

◎次に該当する家庭

●母親が昼間、仕事(家事以外)をするため保育できない家庭

●母親のいない家庭

●母親が病気、心身に障害がある。出産前後などで保育できない家庭

●病人の看護など、その児童の家庭に長期にわたる病人、心身に障害のある人がいるため保育できない家庭

※富士保育所では満3才以上で心身の発達に遅れのある児童の保育も行っています。ご相談ください。

▽申請書交付・申し込み 1月8日(月)から1月19日(金)まで、児童家庭課または各支所

▽問い合わせ 児童家庭課(☎0563-4)

保育所名	所在地
富士保育所	富士町7丁目2-1
幌別東保育所	幌別町8丁目17
栄町保育所	栄町2丁目6-1
鷺別保育所	鷺別町4丁目36-18
登別保育所	登別東町1丁目14-5
登別温泉保育所	登別温泉町92-1
富浦保育所	富浦町1丁目53

## 納められましたか!

今月は、市道民税(第4期)の納期です。忘れずに納めましょう。

市税の納入には、便利な口座振替制度もありますので、納入の際に手続きしませんか!

▽問い合わせ 税務課(☎01155)



冬道安全運転の基本を

再エックしませんか

### 冬道安全運転技能講習会

#### 参加者募集

- ▽月日 2月2日(金)・4日(日)
- ▽場所 登別自動車学校
- ▽申し込み・問い合わせ 1月22日(月)までに市民課 (☎1855)

	2月2日(金)	2月4日(日)
1	8時30分～9時30分	8時30分～9時30分
2	9時～10時	9時～10時
3	9時10分～10時30分	9時10分～10時30分
4	10時～11時	10時～11時
5	10時10分～11時30分	10時10分～11時30分
6	19時～20時	13時～14時
7	19時30分～20時30分	13時30分～14時30分
8	20時～21時	14時～15時

### 第26回 小・中学生書初め展

#### 作品募集

- ▽対象 市内に居住する小・中学生(幼児も可)
- ▽作品 1人1点、字句は自由、大きさは小画仙紙2分の1

(67.5cm×35cm)で縦書(作品の裏左下に住所、氏名、学校名、学年を記入してください)

- ▽参加料 600円(受付時に徴収)
- ▽作品受付 1月21日(日)9時30分～10時 市民会館老人休養室
- ▽作品展示 2月10日(土)・11日(日) 市民会館中ホール
- ▽授賞式 2月11日(日)13時(書道連盟賞などたくさんさんの賞を用意しています)
- ▽問い合わせ 吉野さん (☎1009)

### 交通事故巡回相談のお知らせ

道は、交通事故による被害者などの援護活動の促進を図るため、適切な指導助言を行うことを目的とした、平成7年度第3回交通事故巡回相談を行います。

- ▽日時 1月26日(金)10時～15時
- ▽場所 胆振支庁 1階福祉ふれあいの室
- ▽問い合わせ 胆振支庁総務課 (室蘭幸町9-11 ☎9131)

### 北方領土返還要求運動

#### 歌唱歌詞募集

- ▽内容 国民に広く愛され、北方領土返還要求運動などの行事の中で歌うのにふさわしいもの
- ▽応募作品 歌詞には題名を付け、未発表のものに限りませ
- ▽応募方法 A4版の40字詰原稿用紙に縦書きで記載し、別の原

稿用紙に住所、氏名、年齢及び電話番号を書いたものを表紙として付け、封筒の表面に「応募歌詞」と朱書きして送付

- ▽締め切り 1月10日(水)(当日消印有効)
- ▽賞 最優秀作品1点(副賞5万円)
- ▽佳作3点以内(副賞5万円)
- ▽入選作品の発表 2月上旬予定
- ▽その他 応募作品は返却しません。著作権は主催者に帰属。
- ▽申し込み・問い合わせ 特殊法人北方領土問題対策協会 〒102 東京都千代田区平河町2-4-4 第一東栄ビル2階 ☎03-3263-7691



### サッカー選手募集中!!

- ▽対象 中学生(15歳以下)
- ▽練習日 火・木・土・日曜日の週4回(2時間程度)
- ▽練習場所 登別大谷高校グラウンドまたは体育館
- ▽申し込み・問い合わせ 登別大谷高校兼田さん(☎2970)

### NHK平成8年度

#### 番組モニター募集

- ▽資格 18歳以上の方
- ▽募集人数 前期(平成8年4月～9月)

後期(10月～平成9年3月)各10名

- ▽応募方法 「北海道中ひざくりげ」や「イブニングネットワーク」などの感想を所定の応募用紙に40字程度にまとめて送付
- ▽謝礼 月額1万3千円
- ▽締め切り 2月15日(木)(必着)
- ▽申し込み・問い合わせ NHK 室蘭放送局(〒051 室蘭市山手町1-3-50 ☎7271)

### 登別高校定時制 1日体験入学のお知らせ

登別高校定時制は、働きながら学ぶ青少年だけでなく、広く教養を高めたり、新しい技能を求める社会人や主婦の方々に、生涯学習の場として積極的に学校を開放しています。

- ▽今年度、20～70歳代の市民の方18名が、書道やワープロ、生物、英会話など楽しく学んでいます。
- ▽1日体験入学で、社会人の方々の学習の様子をご覧いただき、夜間定時制で学ぶことの楽しさを体験してください。
- ▽日時 1月24日(水)17時30分～19時30分

### 登別高校定時制

- ▽場所 登別高校定時制
- ▽内容 ワープロ、英会話、生物、古典、社会の授業参観、特別給食の会食、定時制・社会人入学の説明など
- ▽問い合わせ 14時～20時に登別高等学校定時制職員室 (☎2911)

### となりまち ホットライン



### 室蘭市 震災復興を祈願して

阪神・淡路大震災の復興を祈願して、被災地である室蘭市に伝承される明石鯨(鯨のたこ)を描いた和紙の肌作りと肌上げの体験学習会を行います。この機会にぜひ、親子で参加してみませんか。

### 伊達市



伊達メセナ協会主催(伊達市教育委員会後援)の「玉置浩二・石川鷹彦アコースティックライブ」が、ガ次のとおり開かれます。道内16ヶ所の公営の一つで、劇場内では伊達市のみの開催です。玉置浩二さんの歌とギター演奏を、ぜひお楽しみください。

- ▽日時 2月4日(日)開演18時30分
- ▽場所 カルチャーセンター(松ヶ枝町・入場料 3千円(主催指定・未就学児の入場は、遠慮ください))
- ▽チケットの取り扱い・問い合わせ カルチャーセンター(☎1422 ☎1515)



## うらびょうし



### ねばりで絶対合格するぞ

12月8日、西陵中学校で恒例の「合格祈願もちつき集会」が開かれ、進学、就職の進路決定を前に、「元気を出して頑張ろう」と、3年生らが威勢のいい掛け声とともにきねを振るっていました（表紙の写真）。つきたてのもちは、その場で雑煮などにして味わい、「このねばりで乗り切ります」と頼もしい声が聞こえました。

#### 人のうごき

- 人口 57,439(+30)
  - 世帯 22,668(+14)
- ( )は前月比  
平成7年11月末日現在

鳥名 ジョウビタキ (冬鳥)  
観察時期 10月末～4月



(文・写真提供 自然愛好グループヨシキリの会)  
●問い合わせ 伴野さん ☎85-7515

ボクはジョウビタキ。この前の夜、若草町の民家にとび込みました。家中大騒動の中、虫取り網でボクはあえなく御用。あわれカゴの鳥とあい成りました。でも家の人たちは親切でりんごをこちそうしてくれました。早速ボクの正体を知ろうと、図鑑を調べたところ「ビタキではないか」ということになったんだけど、念のためヨシキリの会に連絡を入れて確認したところ「ジョウビタキと解ったんだよ」。

ボクの鳴き声はヒツヒツという火打ち石をたたく音に似てるので「ビタキ」と呼ばれるんだ。体の色も頭と翼の黒以外は色が赤いので「焼き鳥」とも言われたんだよ。見た目も情熱的な鳥だから、もちろんいつも元気いっぱい。次の日、大勢の幼稚園児の応援を背に、あつという間に冬空へ飛び立ったよ。ボクを保護した家の男の子は夕方まで外で鳥カゴのフタを開けてボクの帰りを待っていたんだよ。

